機能ID	中項目	機能名称	機能要件	実装区分	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
0360055	6.1 共通	公示送達対象の出力	公示送達日登録を行った対象者又は指定納期設定（納期変更）の対象者を抽出し、リストの出力を紙及びCSVで出力できること。 また、指定納期設定（納期変更）については、変更前/変更後の情報をリスト出力できること。 ＜出力項目＞ 通知書番号 納付義務者（宛名番号、氏名、住所） 公示送達日　※公示送達日登録の場合 納期限（変更前/変更後）　※指定納期設定の場合	実装必須機能	・特別徴収の場合は、納付義務者の項目については特別徴収義務者と読み替える		令和8年4月1日
0360056	6.1 共通	公示送達対象の異動の確認	公示期間中に住所や送付先の異動があったものを出力できること。	実装必須機能			令和8年4月1日
0360057	6.1 共通	EUC機能	EUC機能を利用して、データの抽出・分析・加工・出力ができること。	実装必須機能			令和8年4月1日
0360058	6.1 共通	アクセスログ管理	・個人情報や機密情報の漏えいを防ぐために、システムの利用者及び管理者に対してログを管理（取得・検索・抽出・参照・ファイル出力を指す）できること（IaaS事業者がログについての責任を負っている場合等、パッケージベンダ自体がログを提供できない場合は、IaaS事業者と協議する等により、何らかの形で本機能が地方自治体に提供されるようにすること）。	実装必須機能			令和8年4月1日
0360059	6.1 共通	アクセスログ管理	・ログイン認証ログを管理できること。	実装必須機能			令和8年4月1日
0360060	6.1 共通	アクセスログ管理	・操作ログを管理できること。	実装必須機能			令和8年4月1日
0360061	6.1 共通	アクセスログ管理	・イベントログ、通信ログ、エラーログを管理できること （統合収納管理機能が動作するOS、運用管理ツール、DB等におけるログでよい）。	実装必須機能			令和8年4月1日
0360062	6.1 共通	アクセスログ管理	・取得した各種ログは、地方自治体が定める期間保管でき、書き込み禁止等の改ざん防止措置をとること。 例）保管期間は、イベントログは直近1年間、操作ログは5年間とする等	実装必須機能			令和8年4月1日
0360063	6.1 共通	保存年限	賦課/収納データは法令年限及び業務上必要な期間の範囲内で保存できること。	実装必須機能			令和8年4月1日
0360064	6.1 共通	操作権限管理	システムの利用者及び管理者に対して、個人単位でＩＤ及びパスワード、利用者名称、所属部署名称、操作権限（異動処理や表示・閲覧等の権限）、利用範囲及び期間が管理できること。 職員のシステム利用権限管理ができ、利用者とパスワードを登録し利用権限レベルが設定できること。 操作者IDとパスワードにより認証ができ、パスワードは利用者による変更、システム管理者による初期化ができること。 アクセス権限の付与は、利用者単位で設定できること。 政令指定都市については行政区単位で設定できること。 アクセス権限の設定はシステム管理者により設定できること。 アクセス権限の付与も含めたユーザ情報の登録・変更・削除はスケジューラーに設定する等、事前に準備ができること。 また、事務分掌による利用者ごとの表示・閲覧項目及び実施処理の制御ができること。 他の職員が異動処理を行っている間は、同一住民の情報について、閲覧以外の作業ができないよう、排他制御ができること。 なお、操作権限管理については、個別及び一括での各種制御やメンテナンスができること。	実装必須機能	・認証に係る機能については、標準準拠システムで実装するか、認証基盤等で実装するかを問わない。		令和8年4月1日
0360065	6.1 共通	操作権限管理	パスワードによる認証に加え、ICカードや静脈認証等の生体認証を用いた二要素認証に対応すること。 複数回の認証の失敗に対して、アカウントロック状態にできること。	実装必須機能	・認証に係る機能については、標準準拠システムで実装するか、認証基盤等で実装するかを問わない。		令和8年4月1日
0360066	6.1 共通	操作権限管理	科目単位で操作権限を制御できること。	実装必須機能	・認証に係る機能については、標準準拠システムで実装するか、認証基盤等で実装するかを問わない。		令和8年4月1日